

現代の男性による美容意識の変遷

～ヘアケアを中心とした美容文化の発展とその背景

～

引地竜平

近年、美意識の高まりは女性だけでなく男性にも広がり、従来女性中心とされた美容に男性も積極的な姿勢を示すようになってきている。本研究では、ヘアケアを切り口に男性美容意識の歴史的変遷と現代の特徴を明らかにし、社会的背景との関連を探ることを目的としている。また美容師へのヒアリング調査を通じ、男性美容意識の変化や今後の展望についても考察する。

男性の美容意識の変化の要因として3つの要因があることがわかった。まずSNSの発達により、男性は美容やヘアケアに関する情報を手軽に得られるようになったことや加工アプリの登場により自身の見た目を意識し、個々の美容意識が高まり、より美容の要求が強まった。次に製品やサービスの多様化により、選択肢が増えたことで男性の美容意識は細分化し、より幅広いニーズに応える形で発展している。さらに、ジェンダー平等の進展は、男性が美容に対して抱く偏見を軽減し、美容が単なる見た目の改善だけでなく、自己表現やライフスタイルの一環として受け入れられるようになった。

総じて、男性の美容意識の変化は、これらの要因が相互に作用し、特に男性の美容意識が高まっていることがわかった。

インタビュー調査の結果、清潔感を重視する文化的背景と、美容が自己表現を示す手段として認識されつつある時代の変化を反映していることがわかった。年齢に関係なく日常的なスキンケアや眉カットを取り入れる男性が増えており、「見た目の整え方＝自己管理の一環」という認識が広がっていることがわかり、美容が生活や仕事と密接に結びついた実用的な行動として位置付けられ始めているのが現代の特徴である。

日本でも美容が見た目を整える以上の意味を持ち、職場や社会での印象管理や健康の維持といった実用的な目的と結びつき、スキンケアや眉カットなどが「身だしなみ」の一環として認識され、幅広い層で受け入れられている。また、高齢者のQOL向上の手段として重要視されると考えられる。また医療の現場でも、QOL向上のため美容ケアが積極的に行われる可能性が高い。

今後の課題として、調査対象の拡大や、ヘアケアが心身の健康や社会的つながりに与える影響の検証が求められる。